

# 石油・天然ガス開発事業の持続的成長を目指して

INPEXグループでは、中長期にわたり持続的発展を遂げるための成長目標と、この達成に向けた重点的取組を明らかにするため、「INPEX中長期ビジョン～イクシスそして次の10年に向けて～」を掲げています。

この中で、2020年代に達成を目指す「3つの成長目標」と、そのための「3つの基盤整備」を定めていますが、その基盤整備項目の一つにCSRを位置付け、毎年の進捗状況を把握し、中長期的な視点でCSR経営の強化に取り組んでいます。

1

## 上流事業の持続的拡大

上流専門企業の  
トップクラスを目指して

2020年代前半にネット生産量  
日量100万バレルを達成

2

## ガスサプライチェーンの強化

ガスビジネスの  
グローバル展開を目指して

長期的に年間30億m<sup>3</sup>の国内ガス供給量の  
実現を目指し、2020年代前半に25億m<sup>3</sup>を達成

### 3つの成長目標

### 3つの基盤整備

1

## 人材の確保、育成と 効率的な組織体制の整備

- 新規プロジェクト開発部門を創設し、地域事業本部や海外事務所との連携体制を強化。
- 新規案件に関する情報収集、協議やマーケティング活動など、海外拠点を積極的に活用。
- 国内外の人材を積極的に確保・活用し、グローバル人材を育成。
- 意思決定を機動的、円滑に行うため、的確かつ効率的な業務遂行体制を確立。

2

## 成長のための投資と 適切な株主還元

- プロジェクトからのキャッシュフローと借入れにより、今後の中長期の投資資金を確保。
- 健全な財務体質の維持。
- 上流専門企業トップクラスを意識した株主還元と効率的経営の実現。

## 目指す企業像

INPEXグループは、石油・天然ガス開発事業における持続的な成長を実現することにより、国際的競争力を有する上流専門企業のトップクラスを目指します。

天然ガスをコアとして、広範囲な地域への安定したエネルギー供給に貢献することにより、総合エネルギー企業へと展開・進化します。

日本のエネルギー自給率の向上において大きな役割を果たすとともに、経済成長、社会発展に貢献します。

これらにより、株主をはじめとしたステークホルダーの皆さまから社会的にかけがえのない存在として、より一層評価される企業になることを目指します。

2015年度以降は6つの重点テーマのもと、CSR経営の強化に取り組みます。

HSE	従業員
地域社会	コンプライアンス
気候変動対応	ガバナンス

### ～2014年度の主な進捗～

#### CSR経営の推進

CSR委員会を2回開催。CSR重点テーマの見直し、共通価値創造(CSV)活動の取組方針の決定、CSR社内浸透策(CSR研修)等について議論、施策を実行。

#### コーポレート・ガバナンスの持続的強化

経営諮問委員会を2回開催し、外部有識者の意見を経営に反映。コーポレートガバナンス・コードの検討。

#### ステークホルダー・コミュニケーションの強化

ステークホルダー・ダイアログの実施、操業地域における環境社会影響調査を通じたコミュニケーションの継続実施、積極的な広報・IR活動を通じた情報開示、各種調査機関への情報開示の強化と評価向上。

#### コンプライアンス・HSE体制の強化

##### [コンプライアンス]

行動規範解説書及び贈収賄・汚職防止ガイドラインの作成。

内部通報制度の強化に係る内部通報要領の改定。

##### [HSE]

重点目標及びコーポレートHSEプログラムに基づく活動推進。

## 3

### 再生可能エネルギーへの 取組強化

社会に貢献する  
総合エネルギー企業を目指して

次世代の成長を見据えた研究開発、  
事業化の取組を強化

## 3

### グローバル企業としての 責任ある経営

- 2012年にCSR委員会を設置し、全社的なCSR推進体制確立によりCSR経営を持続的に強化。
- グローバルな視点でのコーポレート・ガバナンスの持続的強化に向け、2013年3月期より具体策を実施。
- コンプライアンス、HSEの取組を持続的に強化。
- ステークホルダーとの継続的なコミュニケーションを通じて信頼関係と協働関係を構築。